

第5章

広報に関する利用者アンケート調査結果

1 調査の概要	
1.1 実施方法	112
1.2 配布・回収状況	112
1.3 政策評価での活用	112
1.4 回答者属性	113
2 調査結果の概要	
2.1 業績指標 5-3-15『密輸取締り活動に関する認知度』の評価結果について	115
2.2 参考指標 5-3-31『税関の密輸抑止効果についての認識』の評価結果について	115
2.3 密輸防止にかかる規制や密輸ダイヤルの認知について	115
2.4 税関の果たしている役割・成果について	115
2.5 税関見学に対する評価結果について	116
2.6 講演会に対する評価結果について	116
3 調査結果	
3.1 業績指標 5-3-15『密輸取締り活動に関する認知度』の評価結果	117
3.2 参考指標 5-3-31『税関の密輸抑止効果についての認識』の評価結果	124
3.3 密輸防止にかかる規制や密輸ダイヤルの認知	128
3.4 税関の果たしている役割・成果	131
3.5 税関見学に対する評価結果	134
3.6 講演会に対する評価結果	137

1 調査の概要

1.1 実施方法

対象者層	実施期間	配布方法	回収方法
窓口来訪者	平成20年12月	窓口配布	窓口・郵送回収
通関業者	平成20年12月	郵送配布	郵送回収
輸出輸入者	平成20年12月	郵送配布	郵送回収
海外渡航者	平成20年12月	手渡配布(※1)	郵送回収
税関見学者	平成20年11月、12月	手渡配布(※2)	手渡回収(※2)
講演会参加者	平成20年12月 平成21年1月	手渡配布(※2)	郵送・手渡回収(※2)

(※1) 各国際空港(成田、中部、関西、福岡)の入国時、旅具検査場で配布。

(※2) 各税関での見学会・講演会終了後、会場で配布・回収等。

1.2 配布・回収状況

対象者層	配布数	回収数	回収率
窓口来訪者	321	279	86.9%
通関業者	1,071	917	85.6%
輸出輸入者	776	485	62.5%
海外渡航者	4,960	1,122	22.6%
税関見学会	432	416	96.3%
講演会参加者	314	255	81.2%

1.3 政策評価での活用

財務省の政策評価に係る政策目標・業績目標の業績指標・参考指標として、広報に関する利用者の評価を測定する。具体的には、上記のアンケート対象者のうち、①回答者全体の『密輸取締り活動に関する認知度』を業績指標 5-3-15 とし、②回答者全体による『税関の密輸抑止効果についての認識』の評価を参考指標 5-3-31 とする。

■政策目標 5-3 関税の適正な賦課及び徴収、社会悪物品等の密輸阻止並びに税関手続における利用者の利便性の向上

①業績指標 5-3-15 『密輸取締り活動に関する認知度』

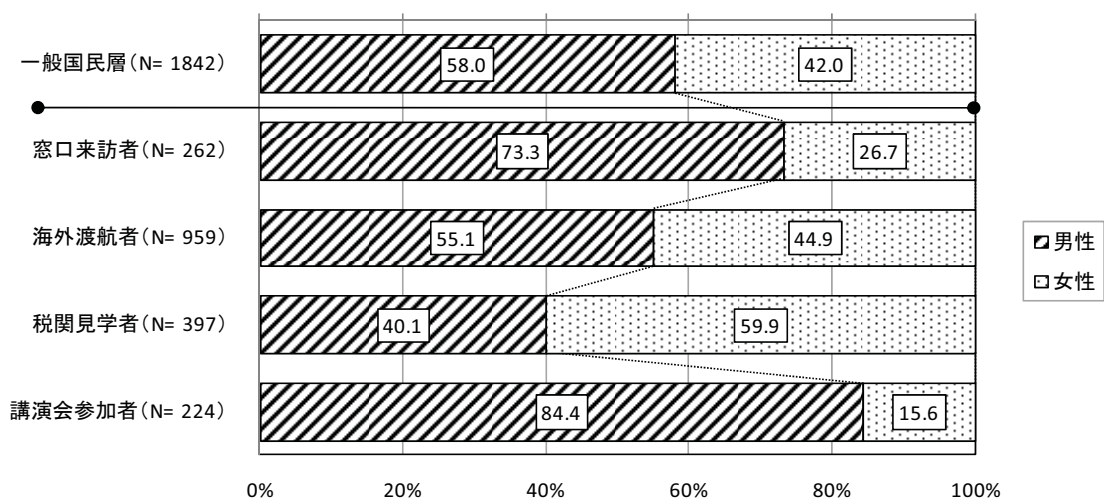
- ・回答者全体のうち、主な密輸取締り活動 9 種類中、5 種類以上知っている回答者の割合

②参考指標 5-3-31 『税関の密輸抑止効果についての認識』

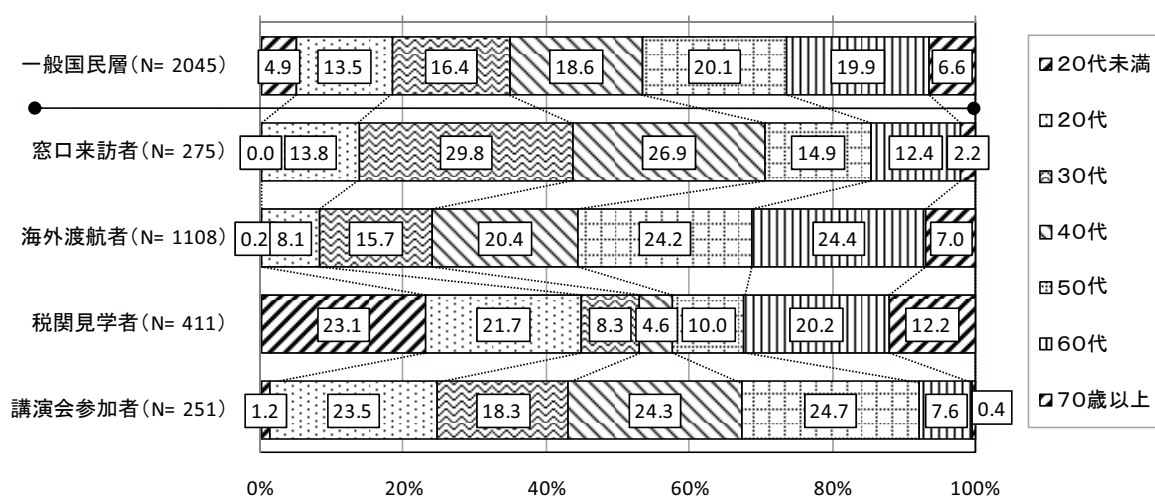
- ・回答者全体による「密輸防止を目的とした広報活動」の評価（7 段階評価中、上位 2 層の占める割合）

1.4 回答者属性

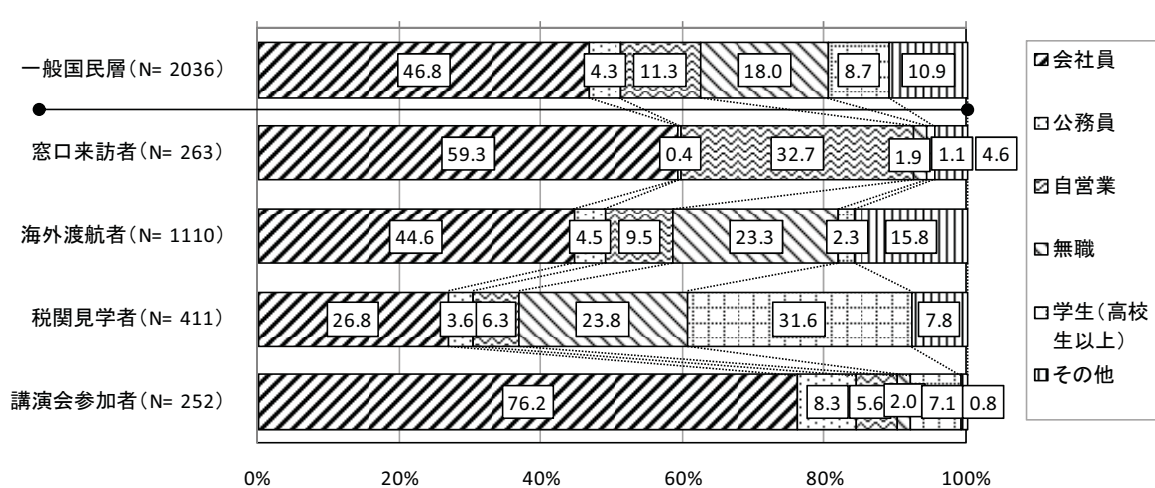
■ 一般国民層属性（性別）



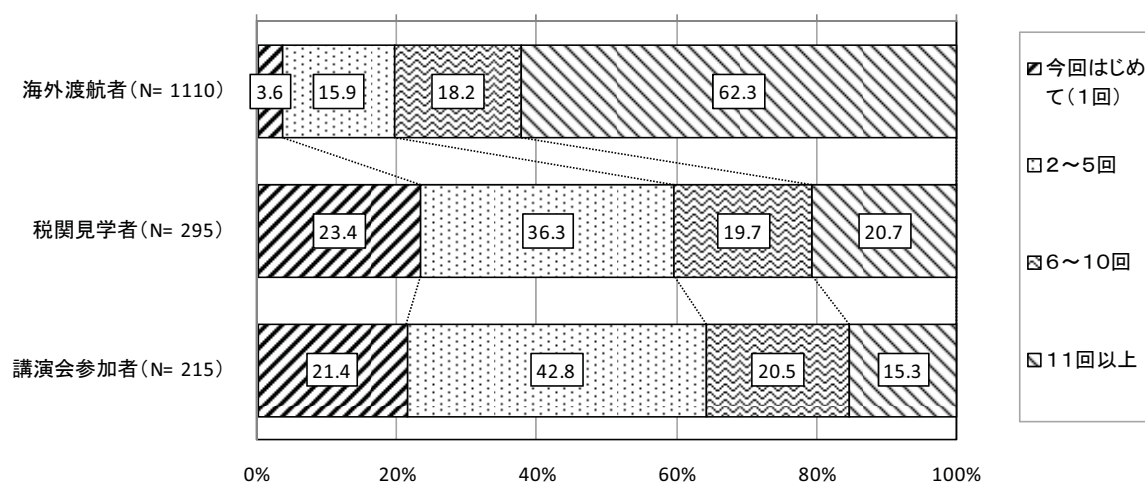
■ 一般国民層属性（年齢）



■ 一般国民層属性（職業）



■ 一般国民層属性（海外渡航経験）



注) 海外渡航経験については、窓口来訪者で尋ねていないため、一般国民層の集計値は不明。

2 調査結果の概要

2.1 業績指標 5-3-15『密輸取締り活動に関する認知度』の評価結果について

- ・回答者全体の『密輸取締り活動に関する認知度』は **80.0%**と昨年度（76.9%）を上回る結果となった。層別に見ると、一般国民層が昨年度（65.9%）から 2.7 ポイント増加して **68.6%**、関連事業者層が昨年度（93.6）から 2.7 ポイント増加して **96.3%**であった。

2.2 参考指標 5-3-31『税関の密輸抑止効果についての認識』の評価結果について

- ・回答者全体の『税関の密輸抑止効果についての認識』について、役立っていると評価した回答者の割合は、昨年度（32.5%）より僅かに増加して 32.8%となった。
- ・広報活動毎に見ると、役立っていると評価した回答者の割合は「税関見学」が 47.6%と最も高い。
- ・今後重点的に取り組むべき活動として「密輸ダイヤルの周知（CM、政府広報など）」が 39.2%と回答者の割合が多かった。

2.3 密輸防止にかかる規制や密輸ダイヤルの認知について

- ・「輸入禁止・規制品目の認知状況」について、回答者全体では、すべての項目で 9 割以上が認知していることがわかった。一方で一般国民層と関連事業者を比べると、「児童ポルノ、公安又は風俗を害すべき書籍・図画等」「貨幣、紙幣及び有価証券等の偽造品、変造品及び模造品等」では、両者に 10 ポイント以上の差がある。
- ・「密輸ダイヤルの認知状況」について、回答者全体では昨年度（42.2%）より 1.6 ポイント増加して **43.8%**となった。

2.4 税関の果たしている役割・成果について

- ・「税関の果たしている役割」の認知度は、回答者全体、一般国民層及び関連事業者のいずれも「①社会悪物品等の密輸阻止」「②関税等の適正な賦課及び徴収」「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」の順となっている。
- ・税関が成果を上げているかという問に対しては、成果を上げていると評価した回答者（回答者全体）は、①が 98.6%、②が 81.0%、③が 66.0%と、「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」がやや低い水準となった。

2.5 税関見学に対する評価結果について

- ・税関見学者の「税関見学」の満足者層（NS層）は、昨年度（88.4%）より 2.7 ポイント増加して **91.1%**となった。
- ・接点評価項目別に見ると、「応対・態度」が 95.1%と最も高い評価となった。また、最も低い「見学時間の長さ」でも 75.9%であり、概ね好評価であった。

2.6 講演会に対する評価結果について

- ・講演会参加者の「講演会」の満足者層（NS層）は、昨年度（70.5%）より 1.9 ポイント減少して **68.6%**となった。
- ・接点評価項目別に見ると、「資料・ビデオのわかりやすさ」が 55.6%と他の項目と比較してやや低い結果となった。今後の対応が望まれる。

3 調査結果

3.1 業績指標 5-3-15『密輸取締り活動に関する認知度』の評価結果

■ 密輸取締り活動に関する認知度（回答者全体・一般国民層／回答者全体・対象者別）

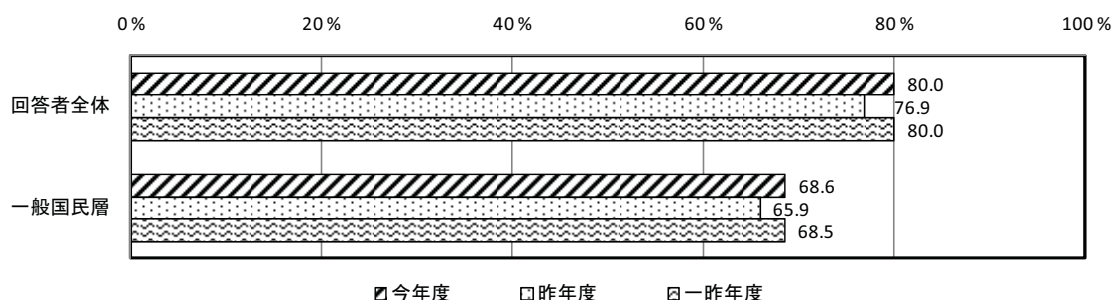
- ・回答者全体の『密輸取締り活動に関する認知度』は、昨年度より 3.1 ポイント増加して 80.0%となった。
- ・対象者別では、税関見学者を除くすべての対象者で昨年度を上回る結果となった。特に窓口来訪者では、5.5 ポイント増の 81.0%、講演会参加者では 22.8 ポイント増の 79.8%となった。

注 1) 密輸取締り活動に関する認知度では、密輸取締り活動 9 種類のうち 5 種類以上を認知している者の割合を示している。

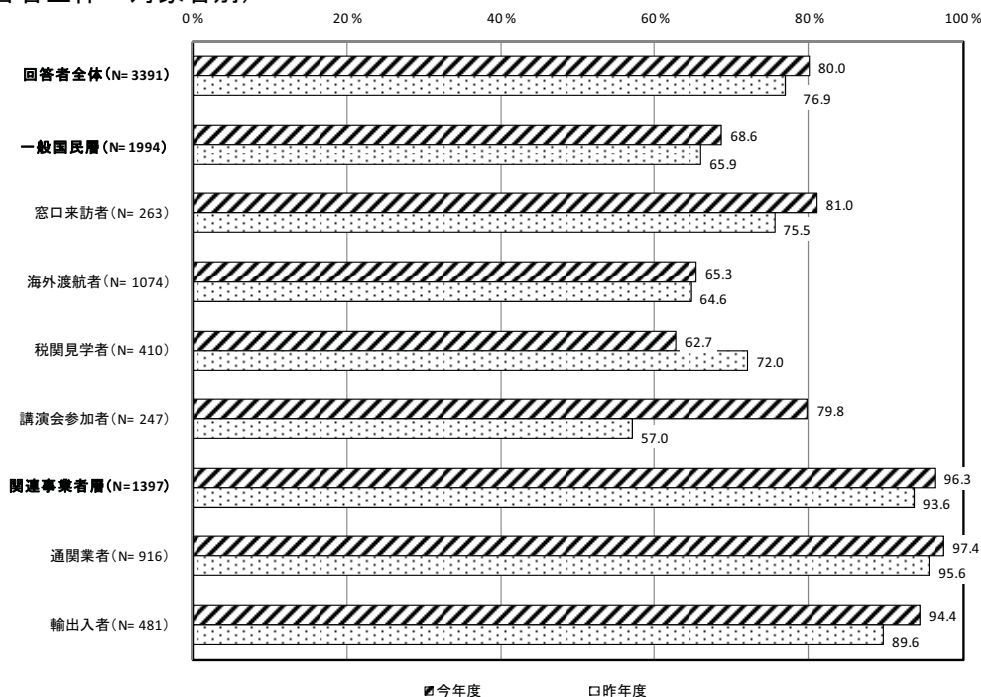
注 2) 一般国民層とは、窓口来訪者、海外渡航者、税関見学者、講演会参加者の合計。また、関連事業者層とは、通関業者、輸出入者の合計。

（回答者全体・一般国民層）

（今年度 全体 N=3,391、一般国民層 N=1,994）



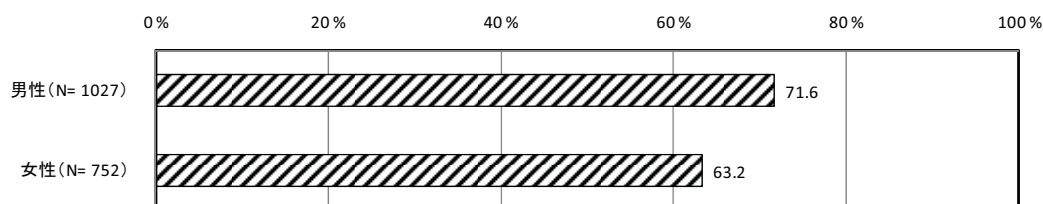
（回答者全体・対象者別）



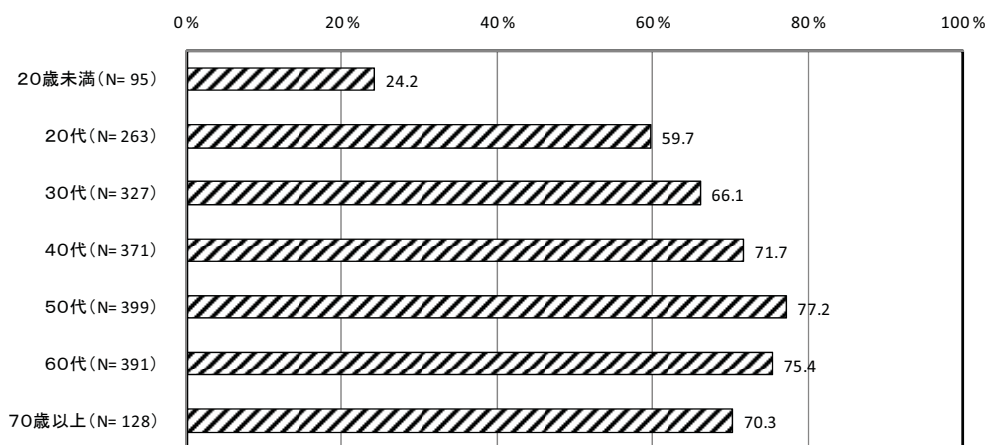
■ 密輸取締り活動に関する認知度（一般国民層・属性）

・一般国民層の『密輸取締り活動に関する認知度』を属性別（性別、年齢別、職業別）に見ると、性別では男性（71.6%）が女性（63.2%）を上回っていることがわかる。年齢別では、年齢の上昇とともに50代までは認知度が増加し、その後減少する傾向が見られた。職業別では、会社員（72.4%）、自営業（76.4%）が相対的に認知度が高いことがわかる。

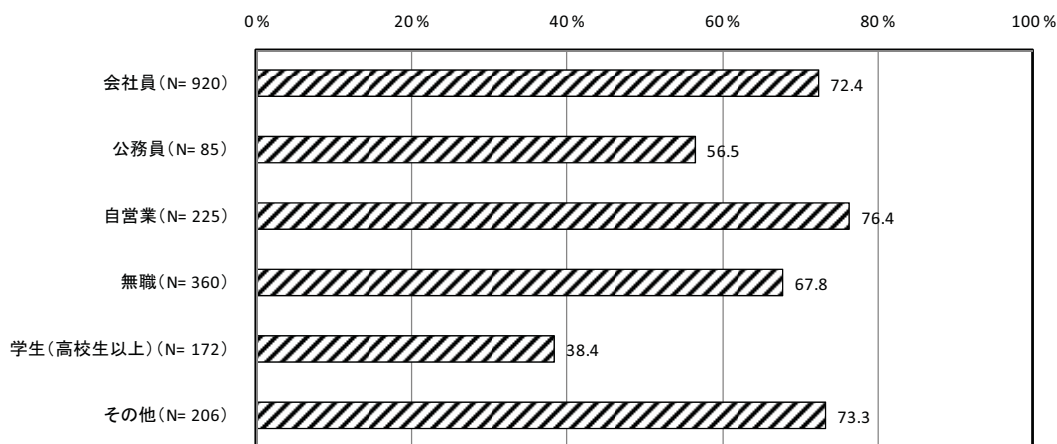
（一般国民層・性別）



（一般国民層・年齢別）

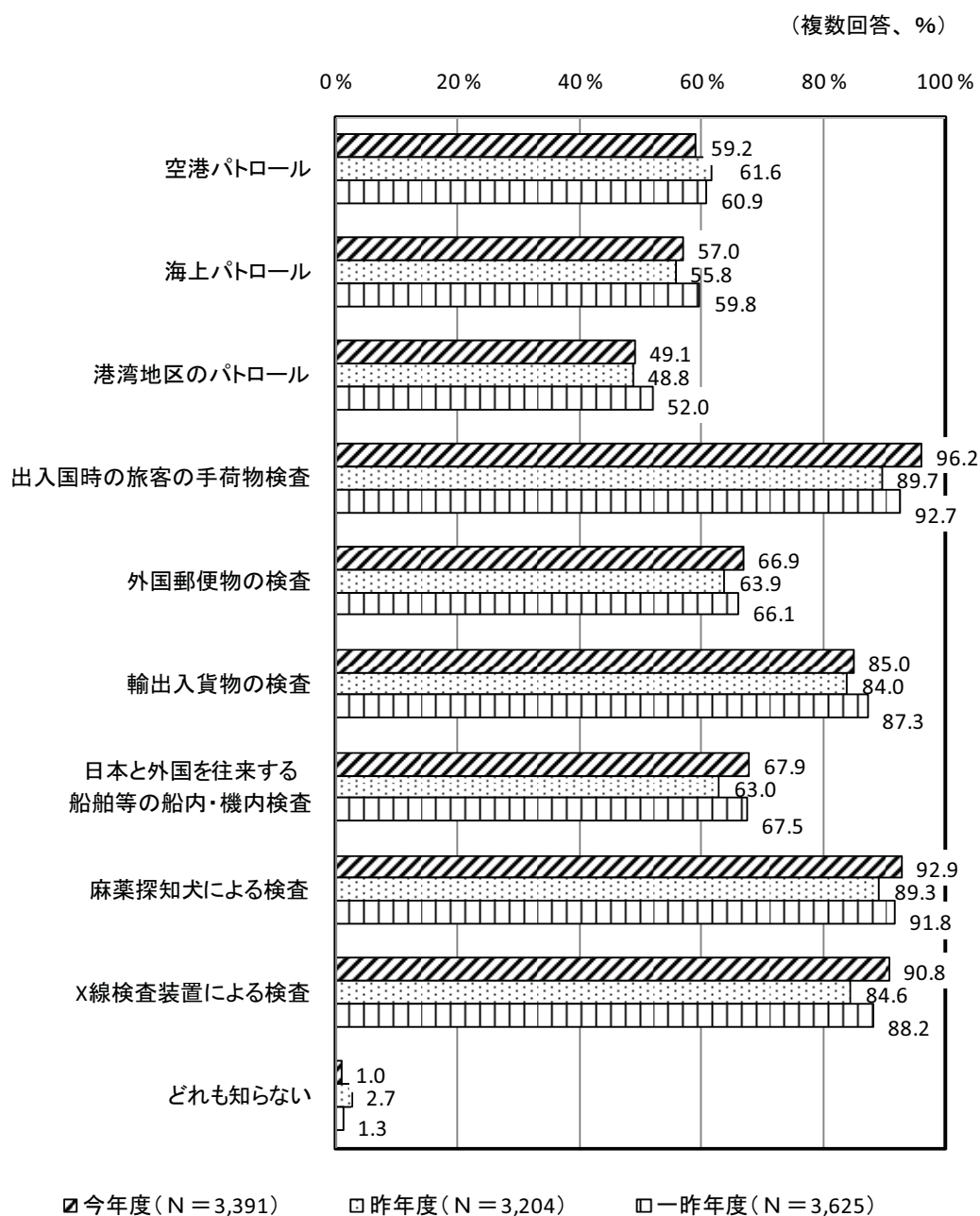


（一般国民層・職業別）



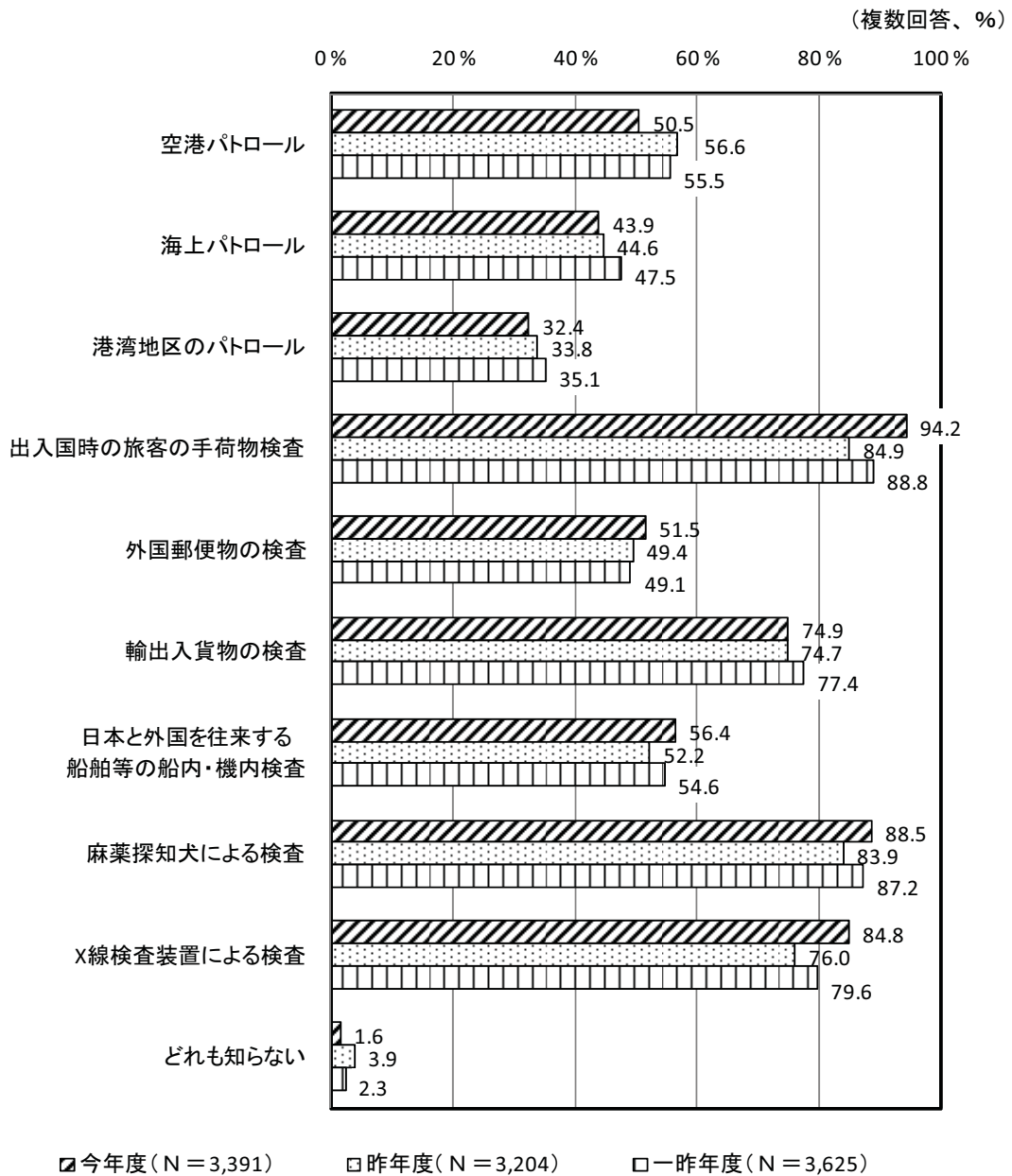
■ 個別の密輸取締り活動に関する認知度（回答者全体）

・回答者全体で密輸取締り活動の項目別の認知度をみると、昨年、一昨年と比較していずれの項目ともほぼ横ばいである。項目をパトロールと検査に大別してみると、相対的にパトロールの認知度が検査の認知度よりも低いことがわかる。このことから、認知度をより高めるためには、広報等行う際に検査とともにパトロールに関する情報も提供することが重要である。



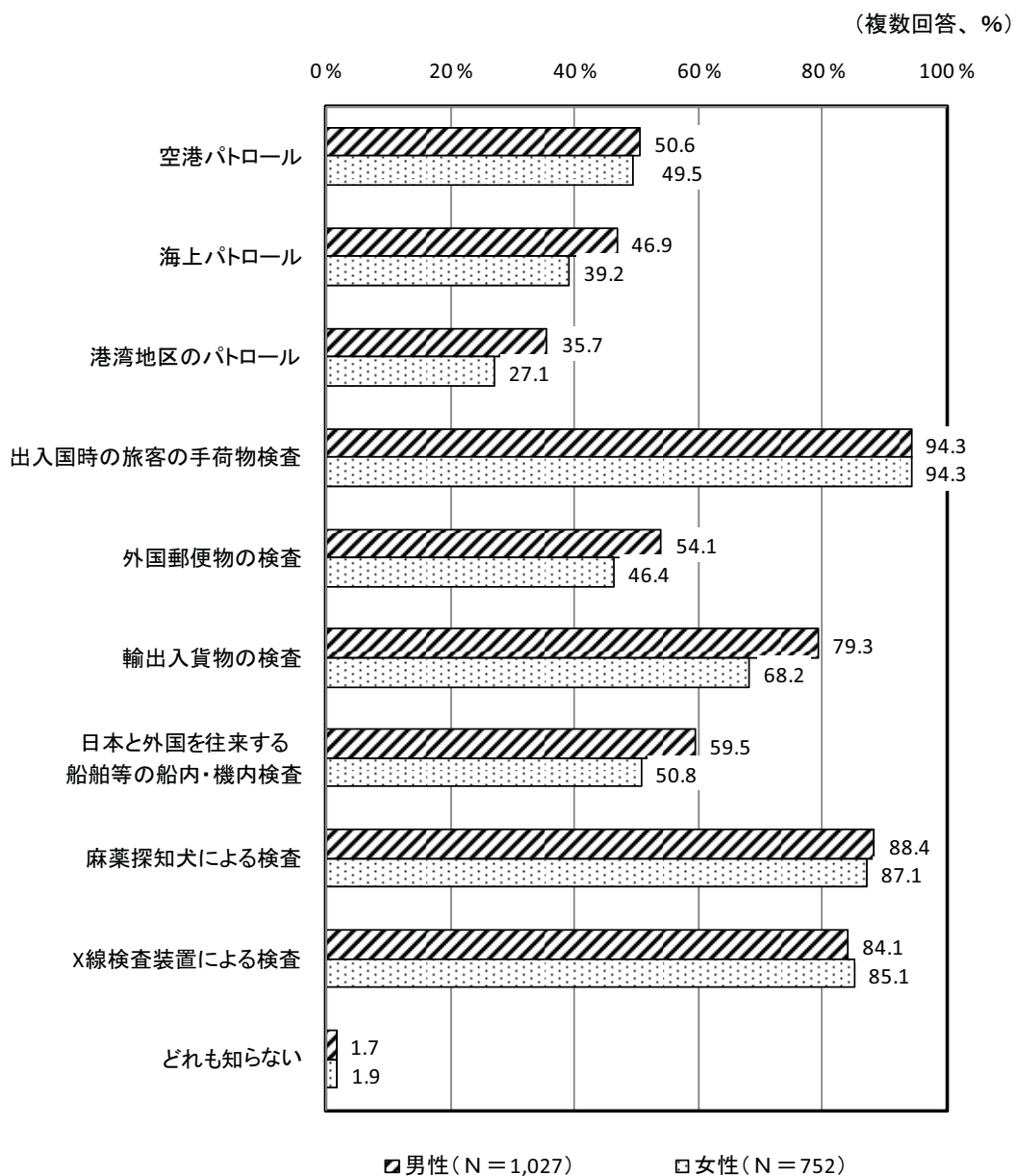
■ 個別の密輸取締り活動に関する認知度（一般国民層）

- 一般国民層で密輸取締り活動の項目別の認知度をみると、昨年、一昨年と比較していずれの項目ともほぼ横ばいである。回答者全体と同様、港湾地区のパトロールの認知度が低く、特に港湾地区のパトロールは 32.4%と低水準である。また、調査結果から一般の目にする機会がある活動が高く、そうでない活動が低くなっていることがわかる。



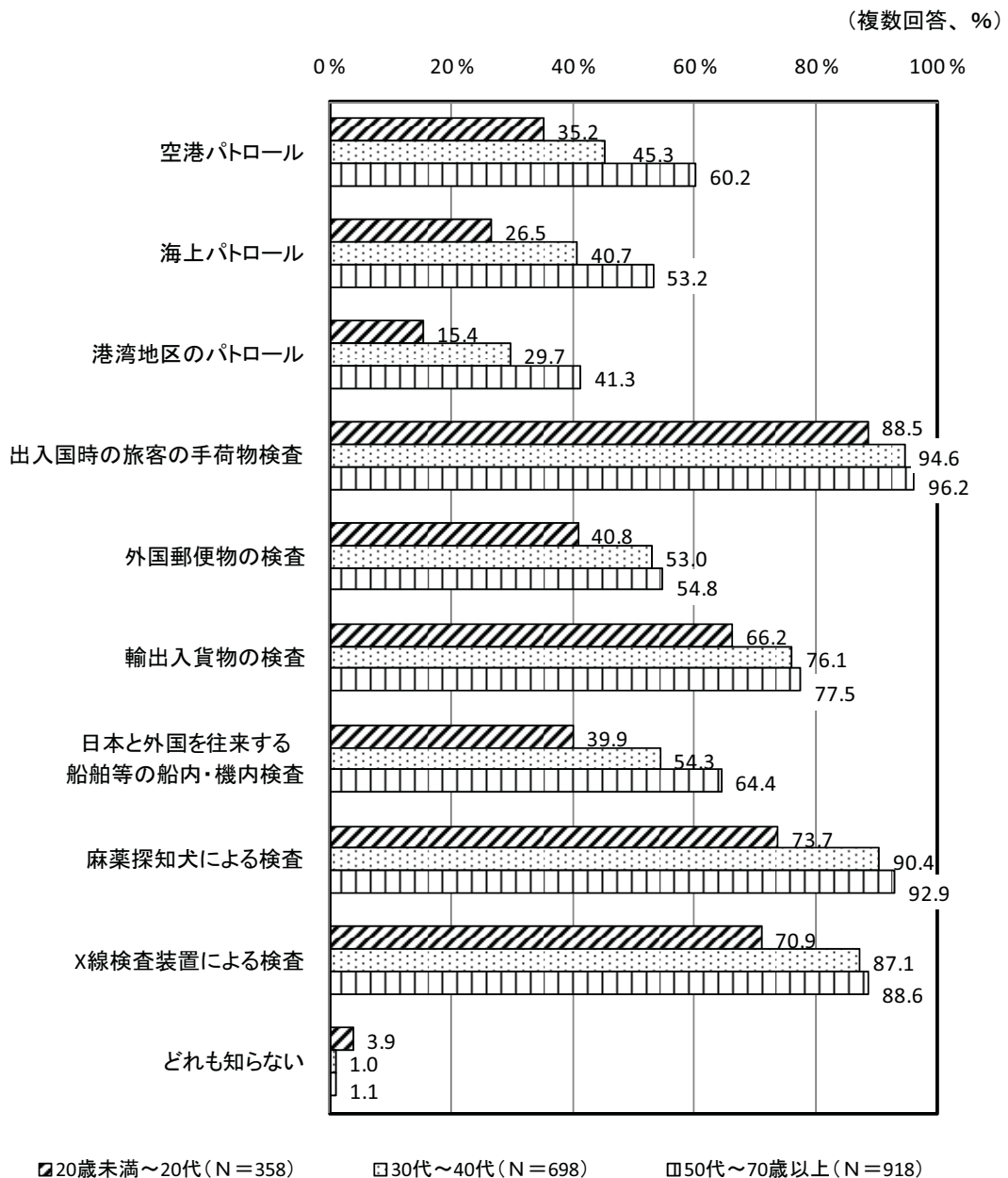
■ 個別の密輸取締り活動に関する認知度（一般国民層・性別）

・一般国民層・性別で密輸取締り活動の項目別の認知度をみると、X線検査装置による検査では女性の認知度が高いが、それ以外の項目では男性の認知度が高いことがわかる。



■ 個別の密輸取締り活動に関する認知度（一般国民層・年齢層別）

・一般国民層・年齢階層別で密輸取締り活動の項目別の認知度をみると、すべての項目で年齢階層が高くなるほど認知度が高い。また、特に20歳未満～20代では、パトロール、外国郵便物の検査、船舶・機内検査など、通常目にする機会のない活動で認知度が低くなっている。



■ 個別の密輸取締り活動に関する認知度（一般国民層・職業別）

- ・一般国民層・職業別で密輸取締り活動の項目別の認知度をみると、学生（高校生以上）の認知度が他の職業に比べて認知度が低い。認知度を向上されるためには、学生（高校生以上）が普段目にする機会がない取締活動を映像等を用いて広報していくことが重要である。

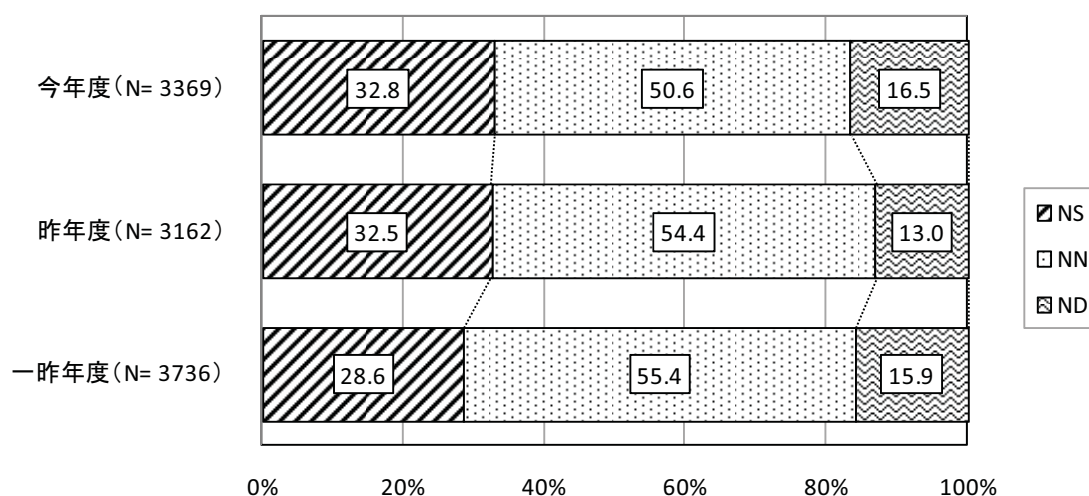
（複数回答、％）

	サンプル数	空港パトロール	海上パトロール	港湾地区のパトロール	検出入国時の旅客の手荷物	外国郵便物の検査	輸出入貨物の検査	日本と外国を往来する船舶等の船内・機内検査	麻薬探知犬による検査	X線検査装置による検査	どれも知らない
合計	1,968	50.5	43.8	32.5	94.2	51.5	74.7	56.3	88.3	84.8	1.6
会社員	920	48.6	44.8	34.0	95.2	54.7	79.7	56.2	91.4	87.7	1.1
公務員	85	42.4	30.6	20.0	97.6	30.6	64.7	52.9	84.7	84.7	2.4
自営業	225	57.3	52.0	39.6	96.0	62.2	78.7	62.7	91.1	86.7	1.8
無職	360	58.1	47.2	35.3	95.6	47.5	70.0	57.8	91.7	86.9	0.8
学生（高校生以上）	172	30.8	23.3	10.5	81.4	35.5	59.9	40.1	61.0	55.2	5.8
その他	206	57.8	46.6	36.4	94.2	54.9	73.3	61.7	89.8	90.8	1.5

3.2 参考指標 5-3-31 『税関の密輸抑止効果についての認識』の評価結果

■ 密輸防止を目的とした広報活動の評価（回答者全体）

- ・回答者全体の『密輸防止を目的とした広報活動に関する評価』は、役立っていると評価した回答者（NS層：上位2層）の割合が、今年度は昨年度より僅か（0.3ポイント）に上昇したが、NN層（上位3,4層）が減少し、ND層（下位3層）が増加した。



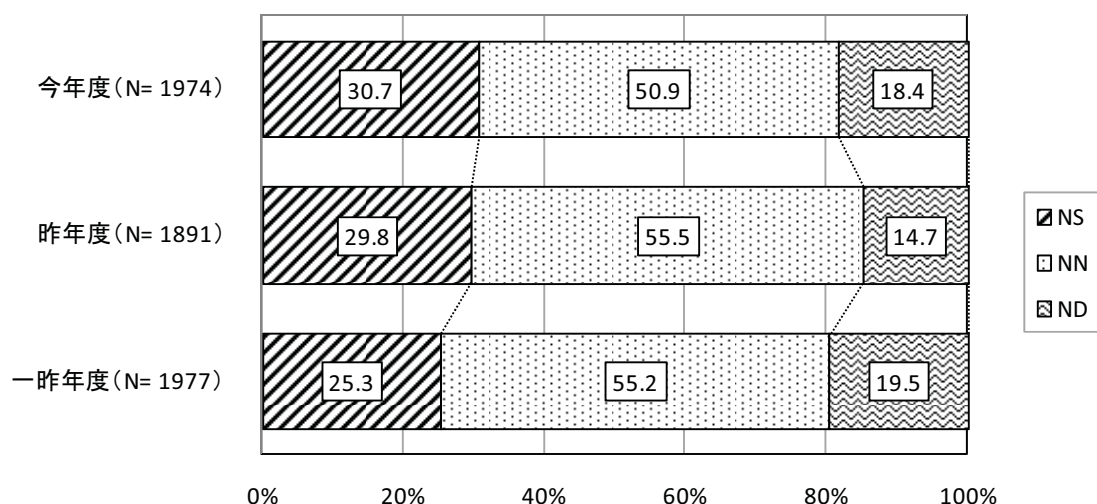
（単数回答、%）

	効果									上位 2 段階	上位 3 段階
	サン プル 数	十 分 役 立 っ て い る	役 立 っ て い る	ま あ 役 立 っ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 役 立 っ て い な い	役 立 っ て い な い	全 く 役 立 っ て い な い			
今年度	3,369	6.7	26.2	33.6	17.0	12.8	2.6	1.1	32.8	66.5	
昨年度	3,162	5.9	26.6	34.1	20.3	9.6	2.3	1.1	32.5	66.6	
一昨年度	3,736	4.6	24.0	35.0	20.4	11.8	3.1	1.0	28.6	63.6	

※ 図中の「NS」は表中の上位2段階、「NN」は表中の中位3段階、「ND」は表中の下位2段階の合計であるが、四捨五入の関係上、表の該当する値の和とは必ずしも一致しないことがある。

■ 密輸防止を目的とした広報活動の評価（一般国民層）

- ・一般国民層の『密輸防止を目的とした広報活動に関する評価』は、役立っていると評価した回答者（NS層：上位2層）の割合が、今年度は昨年度より0.9ポイント増加して30.7%、ND層（下位3層）が3.7ポイント増加して18.4%となった。



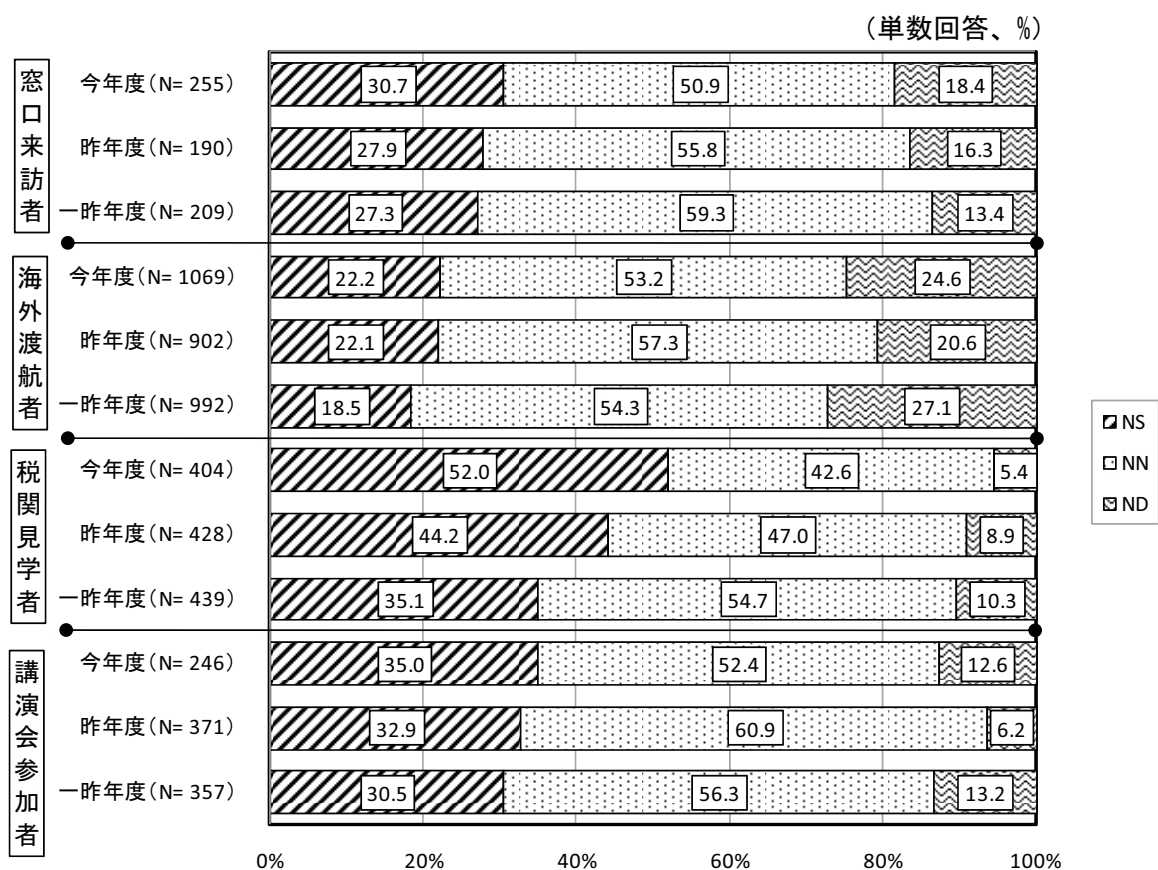
(単数回答、%)

	効果							
	サンプル数	十分役立つ	役立つ	まあ役立つ	どちらともいえない	あまり役立たない	役立っていない	全く役立っていない
今年度	1,974	7.2	23.5	31.0	20.0	13.9	3.0	1.4
昨年度	1,891	6.1	23.7	30.9	24.6	10.3	2.9	1.5
一昨年度	1,977	4.6	20.7	31.5	23.7	13.9	4.0	1.6

※ 図中の「NS」は表中の上位2段階、「NN」は表中の中位3段階、「ND」は表中の下位2段階の合計であるが、四捨五入の関係上、表の該当する値の和とは必ずしも一致しないことがある。

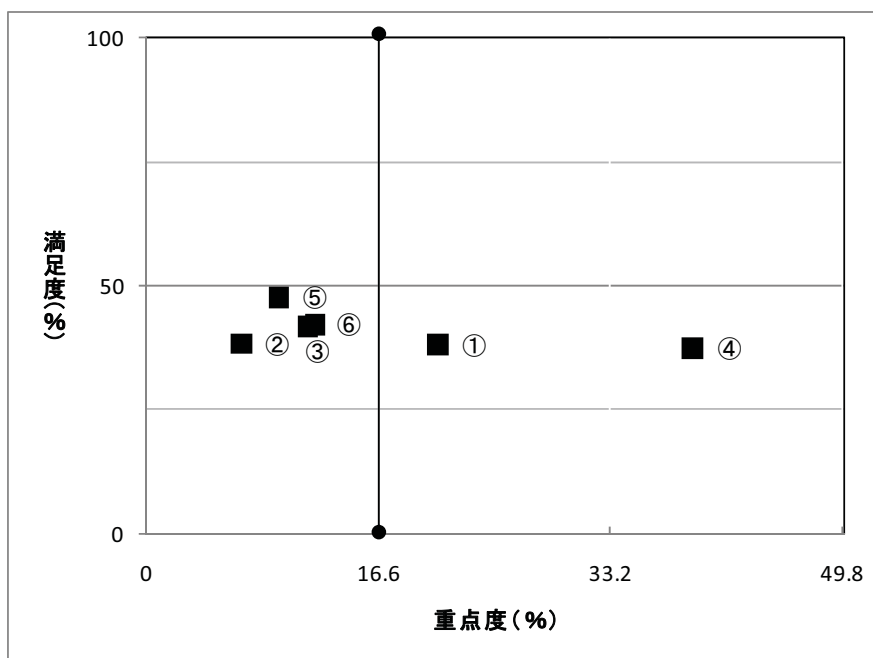
■ 密輸防止を目的とした広報活動の評価（一般国民層・対象者別）

- ・一般国民層の『密輸防止を目的とした広報活動に関する評価』について、対象者別に見ると、すべての対象者でNS層（上位2層）の割合が昨年度よりも増加している。特に税関見学者では、昨年より7.8ポイント増加して52.0%となった。



■ 密輸防止を目的とした広報活動の評価（回答者全体・広報活動別）

- ・回答者全体の『密輸防止を目的とした広報活動に関する評価』について、広報活動ごとに見ると、最も評価の高い広報活動は「⑤税関見学」の 47.6%である。また、最も低い広報活動は「④密輸ダイヤルの周知（CM、政府広報など）」の 37.3%である。
- ・広報活動の中で最も認知度の高い活動は「①密輸防止ポスター」の 68.8%、最も低い活動は「⑥デパートなどでの出張展示、税関展」の 20.8%であり、40 ポイント以上の差がある。
- ・重点度と満足度の関係から、「④密輸ダイヤルの周知（CM、政府広報など）」に注力すべきである。



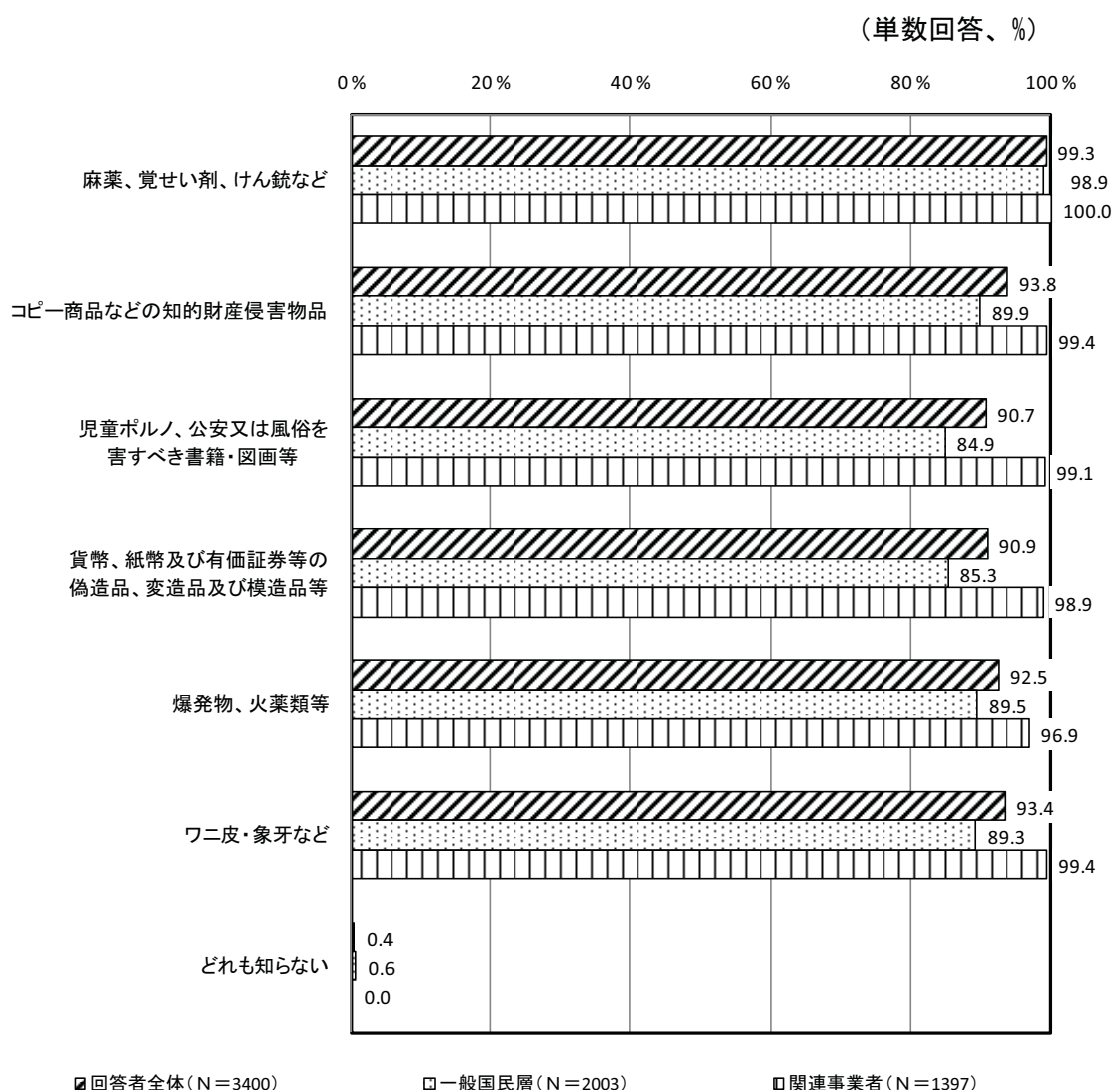
(単数回答、%)

		認知度		評価			重点度	
		サンプル数	%	サンプル数	N S	N N	N D	サンプル数
①	密輸防止ポスター	3,474	68.8	2,335	38.0	52.9	9.0	3,084
②	密輸情報提供パンフレット		39.6	1,341	38.3	53.4	8.3	
③	税関ホームページ		50.6	1,178	41.7	51.1	7.2	
④	密輸ダイヤルの周知 (CM、政府広報など)		31.3	1,067	37.3	53.6	9.1	
⑤	税関見学		31.4	1,063	47.6	46.6	5.8	
⑥	デパートなどでの出張展示、税関展		20.8	706	42.2	49.3	8.5	

3.3 密輸防止にかかる規制や密輸ダイヤルの認知

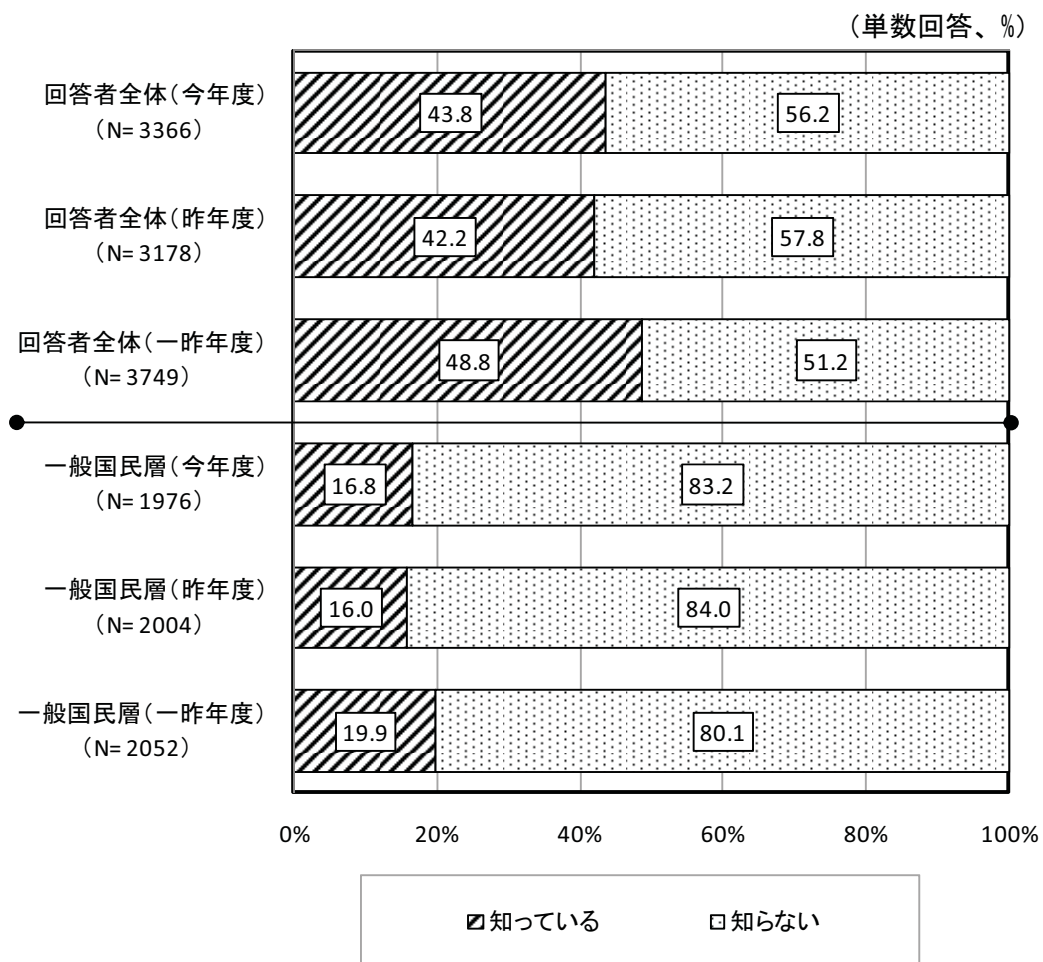
■ 輸入禁止・規制品目の認知状況（回答者全体、一般国民層、関連事業者層）

- ・「輸入禁止・規制品目の認知状況」について、回答者全体ではすべての項目で9割を超える認知状況となっている。また、一般国民層よりも関連事業者層の方がすべての項目で高い認知状況となっており、関連事業者層の高い認知状況が回答者全体の認知状況を高める要因になっている。
- ・一般国民層と関連事業者層との間で認知状況に格差があるものとしては、「児童ポルノ、公安又は風俗を害すべき書籍・図画等」、「貨幣、紙幣及び有価証券等の偽造品、変造品及び模造品等」、「ワニ皮・象牙など」が挙げられ、いずれも10ポイント以上の差となっている。



■ 密輸ダイヤルの認知状況（回答者全体、一般国民層）

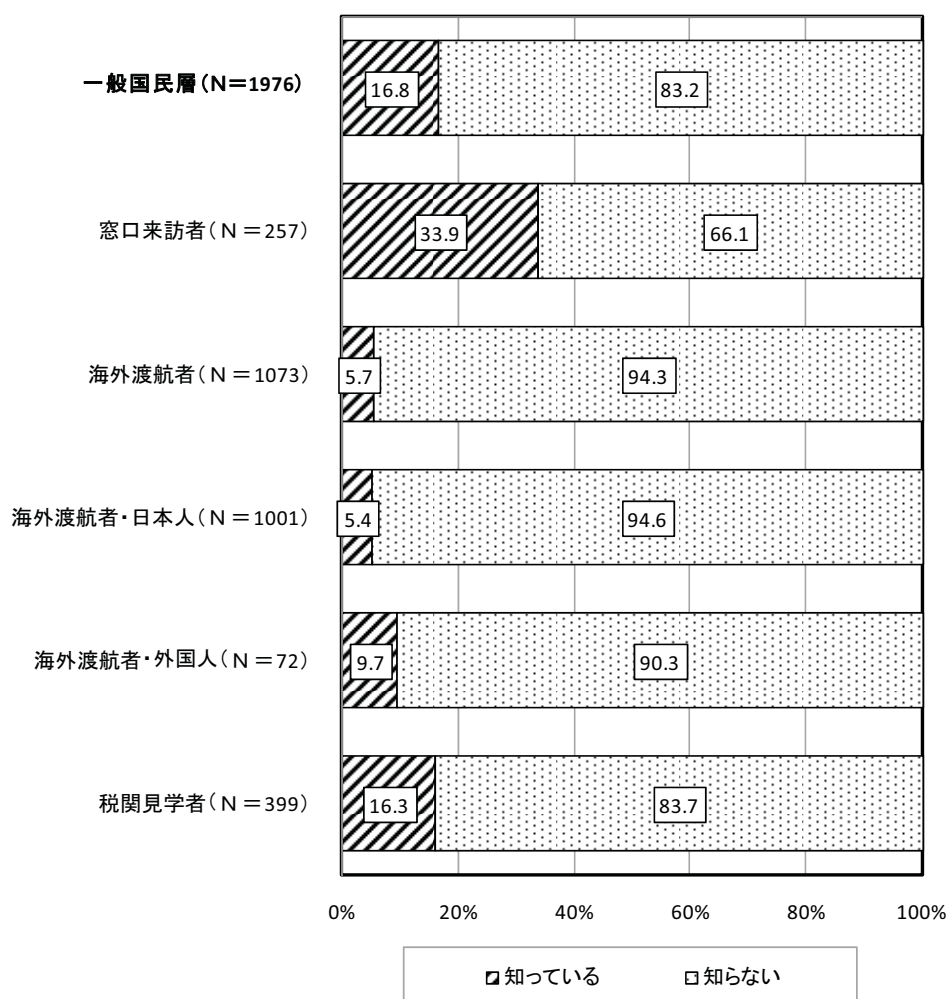
- ・「密輸ダイヤルの認知状況」について、回答者全体では昨年より 1.6 ポイント増加して 43.8%である。また、一般国民層では、昨年より 0.8 ポイント増加して 16.8%である。しかしながら、回答者全体、一般国民層においても一昨年の水準には達しなかった。



■ 密輸ダイヤルの認知状況（一般国民層・対象者別）

・一般国民層の『密輸ダイヤルの認知状況』について、対象者別にみると、海外渡航者・日本人の認知状況は5.7%であり、海外渡航者・外国人、税関見学者、講演会参加者よりも低くなっている。認知を高めるには、一般の日本人（税関見学や講演会に参加しない）への周知が重要であることを示している。

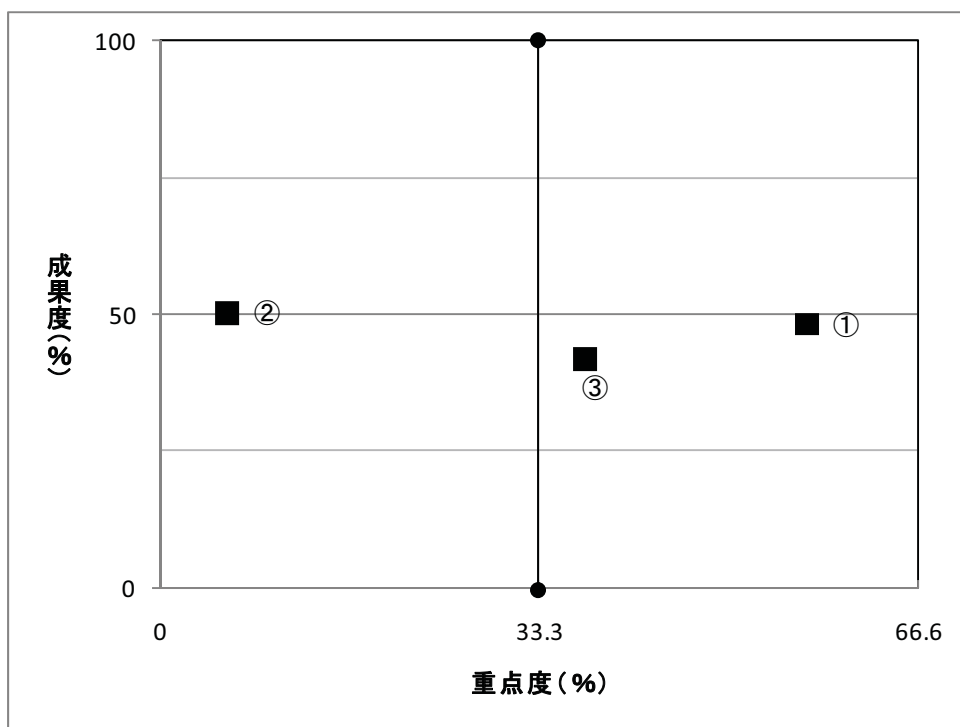
（単数回答、%）



3.4 税関の果たしている役割・成果

■ 税関の果たしている役割、成果に対する評価（回答者全体）

- ・回答者全体の「税関の果たしている役割、成果に対する評価」について、役割ごとの認知度を見ると、「①社会悪物品等の密輸阻止」が最も高く 98.6%、次に「②関税等の適正な賦課及び徴収」が 81.0%、「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」が 66.0%となった。
- ・成果度を見ると、NS層は「①社会悪物品等の密輸阻止」、「②関税等の適正な賦課及び徴収」が5割程度、「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」が約4割と比較的低い評価となった。
- ・重点度と成果度との関係から、「①社会悪物品等の密輸阻止」に注力すべきであることがわかる。

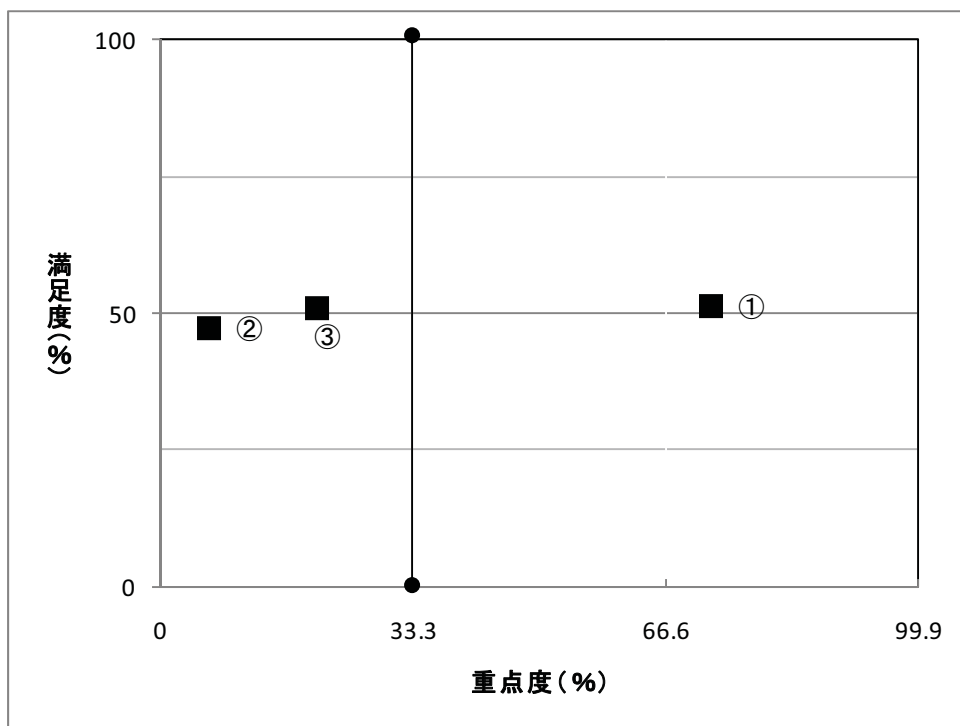


(単数回答、%)

		認知度		成果度				重点度	
		サンプル数	%	サンプル数	NS	NN	ND	サンプル数	%
①	社会悪物品等の密輸阻止	3,143	98.6	3,047	48.1	46.0	5.8	3,205	56.8
②	関税等の適正な賦課及び徴収		81.0	2,498	50.3	46.2	3.5		5.9
③	貿易の円滑化と利用者の利便性の向上		66.0	2,044	41.6	51.8	6.6		37.3

■ 税関の果たしている役割、成果に対する評価（一般国民層）

- 一般国民層の「税関の果たしている役割、成果に対する評価」について、まず役割ごとの認知度を見ると、「①社会悪物品等の密輸阻止」が最も高く 98.3%、次に「②関税等の適正な賦課及び徴収」が 69.3%、「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」が 48.1%であり、①と③では 50 ポイント以上の差があることがわかる。
- 成果度を見ると、NS 層はいずれの役割でも 5 割前後の評価であった。
- 重点度と成果度との関係から、回答者全体と同じく「①社会悪物品等の密輸阻止」に注力すべきであることが示されている。

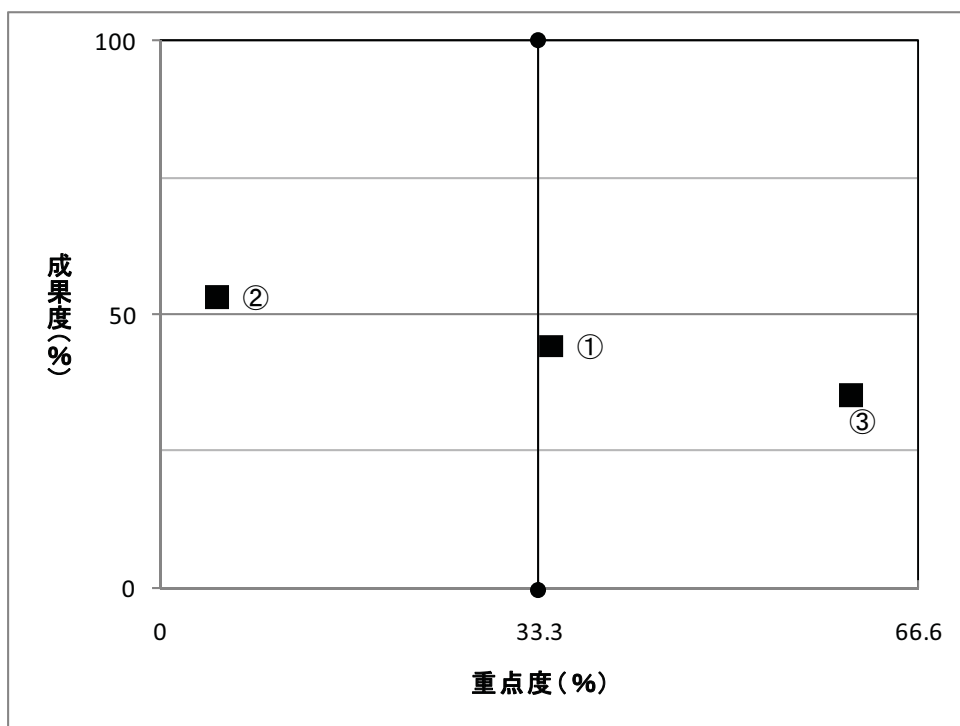


(単数回答、%)

		認知度		成果度				重点度	
		サンプル数	%	サンプル数	NS	NN	ND	サンプル数	%
①	社会悪物品等の密輸阻止	1,799	98.3	1,723	51.2	42.5	6.3	1,878	72.7
②	関税等の適正な賦課及び徴収		69.3	1,206	47.3	49.1	3.6		6.5
③	貿易の円滑化と利用者の利便性の向上		48.1	842	50.7	45.6	3.7		20.7

■ 税関の果たしている役割、成果に対する評価（関連事業者層）

- ・関連事業者層の「税関の果たしている役割、成果に対する評価」について、役割ごとの認知度を見ると、各役割とも9割前後の高い水準となっている。
- ・成果度を見ると、NS層では「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」が他の役割と比較して低く35.3%となっている。
- ・重点度を見ると一般国民層とは異なり、「③貿易の円滑化と利用者の利便性の向上」が最も高い数値となった。成果度との関係から、関連事業者層は成果度を高めることを求めていることがわかる。



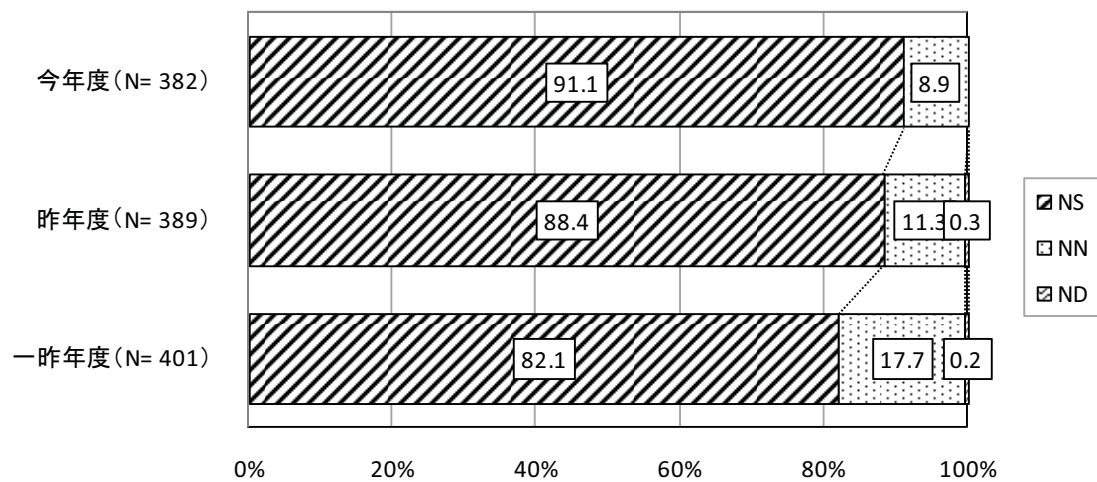
(単数回答、%)

		認知度		成果度				重点度	
		サンプル数	%	サンプル数	NS	NN	ND	サンプル数	%
①	社会悪物品等の密輸阻止	1,344	99.0	1,324	44.2	50.5	5.3	1,327	34.3
②	関税等の適正な賦課及び徴収		96.7	1,292	53.1	43.5	3.4		4.9
③	貿易の円滑化と利用者の利便性の向上		89.9	1,202	35.3	56.1	8.7		60.8

3.5 税関見学に対する評価結果

■ 税関見学の評価（税関見学者）

・税関見学者の「税関見学に対する評価」について、今年度は満足者層（NS層）が昨年度より 2.7 ポイント増加して 91.1%となった。また、7 段階評価で見ると、「大変満足」が約 10 ポイント増加しており、満足の質が向上していることを示唆する結果となった。



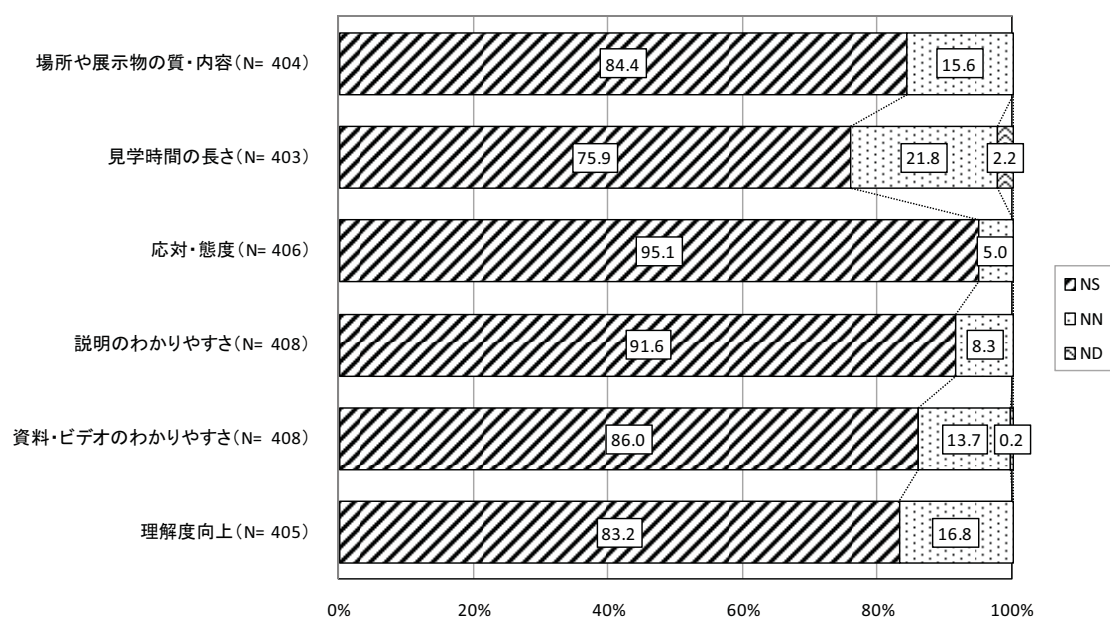
(単数回答、%)

	満足度							
	サンプル数	大変満足	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	大変不満
今年度	382	49.0	42.1	6.8	2.1	—	—	—
昨年度	389	39.6	48.8	10.3	1.0	—	0.3	—
一昨年度	401	27.2	54.9	14.5	3.2	—	0.2	—

※ 図中の「NS」は表中の上位 2 段階、「NN」は表中の中位 3 段階、「ND」は表中の下位 2 段階の合計であるが、四捨五入の関係上、表の該当する値の和とは必ずしも一致しないことがある。

■ 税関見学の評価（税関見学者・接点評価項目）

・接点評価項目別に税関見学者の評価結果をみると、「応対・態度」が最も高く 95.1%、一方、「見学時間の長さ」が最も低く 75.9%となっている。



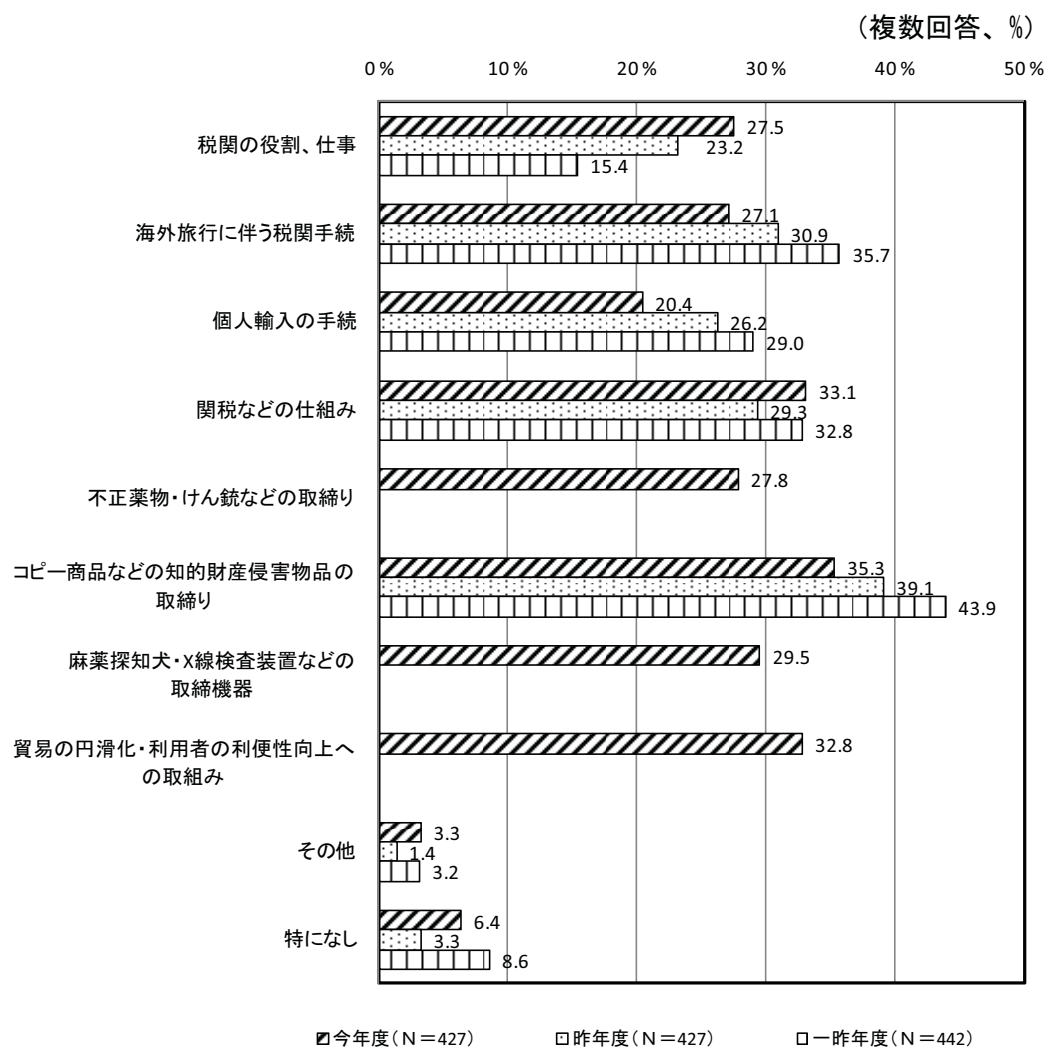
(単数回答、%)

	満足度							
	サンプル数	大変満足	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	大変不満
場所や展示物の質・内容	404	42.8	41.6	11.9	3.7	—	—	—
見学時間の長さ	403	33.0	42.9	15.1	6.7	2.0	0.2	—
応対・態度	406	69.5	25.6	3.0	2.0	—	—	—
説明のわかりやすさ	408	62.7	28.9	6.6	1.7	—	—	—
資料・ビデオのわかりやすさ	408	50.2	35.8	11.5	2.2	0.2	—	—
理解度向上	405	41.7	41.5	11.9	4.9	—	—	—

※ 図中の「NS」は表中の上位 2 段階、「NN」は表中の中位 3 段階、「ND」は表中の下位 2 段階の合計であるが、四捨五入の関係上、表の該当する値の和とは必ずしも一致しないことがある。

■ もっと知りたい、聞きたいと思うこと（税関見学者）

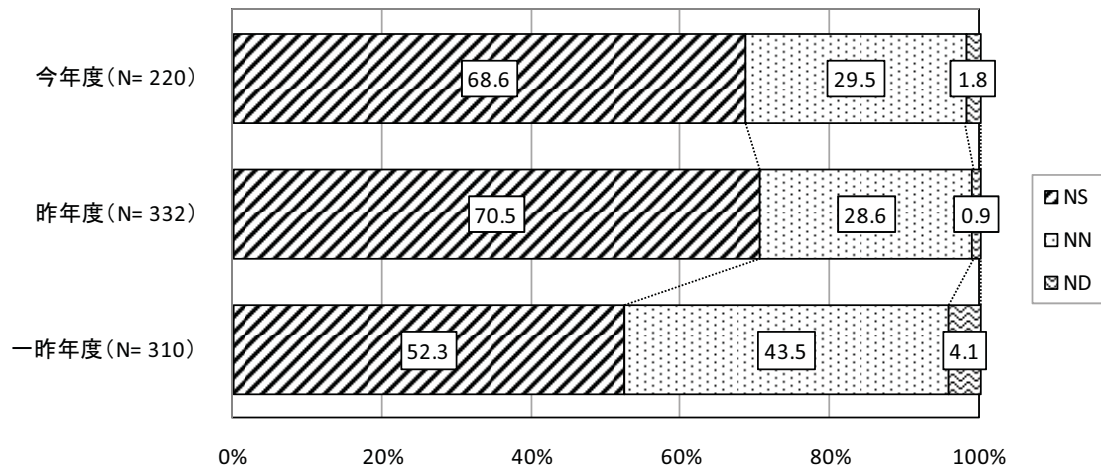
・税関見学者が「もっと知りたい、聞きたいと思うこと」において、昨年度より増加した項目は、「税関の役割、仕事」、「関税などの仕組み」である。今年度調査からの新規項目である「不正薬物・けん銃などの取締り」は27.8%、「麻薬探知犬・X線検査装置などの取締機器」は29.5%、「貿易の円滑化・利用者の利便性向上への取組み」が32.8%であった。



3.6 講演会に対する評価結果

■ 講演会の評価（講演会参加者）

- ・講演会参加者の「講演会に対する評価」について、今年度は満足者層（NS層）が昨年度より 1.9 ポイント減少して 68.6%となった。また、7 段階評価で見ると、「大変満足」が約 11.2 ポイント減少したことがわかる。



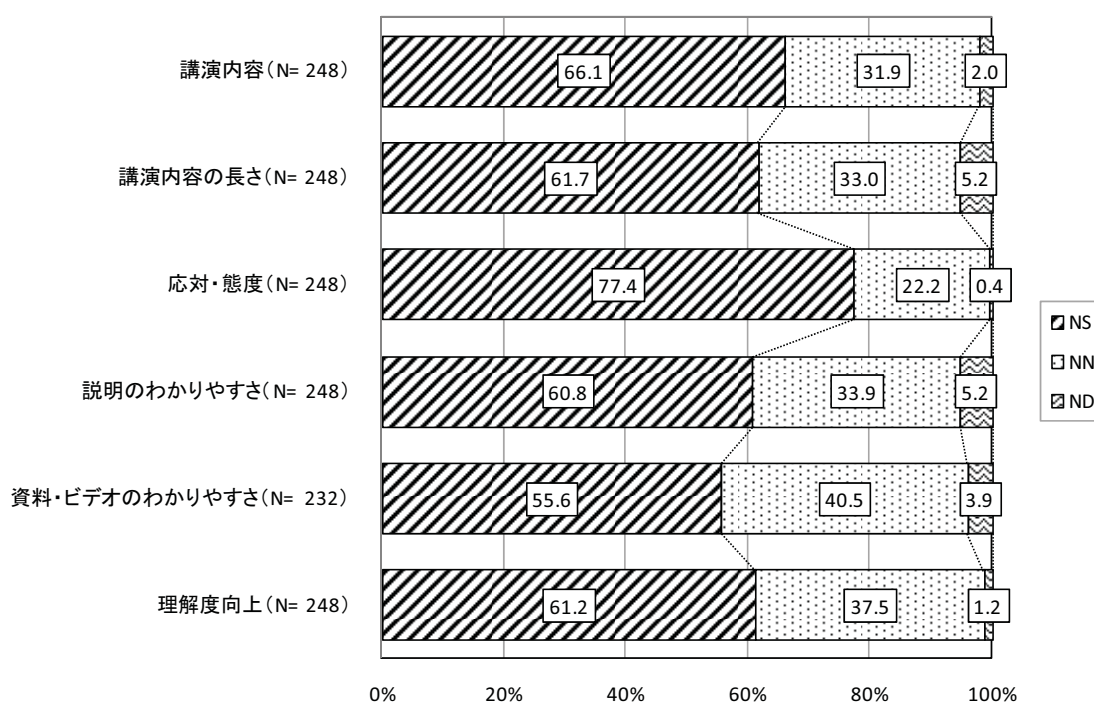
(単数回答、%)

	満足度							
	サンプル数	大変満足	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	大変不満
今年度	220	16.8	51.8	21.8	7.7	1.8	—	—
昨年度	332	28.0	42.5	20.8	7.8	0.6	0.3	—
一昨年度	310	13.9	38.4	32.9	10.6	3.5	0.6	—

※ 図中の「NS」は表中の上位 2 段階、「NN」は表中の中位 3 段階、「ND」は表中の下位 2 段階の合計であるが、四捨五入の関係上、表の該当する値の和とは必ずしも一致しないことがある。

■ 講演会の評価（講演会参加者・接点評価項目）

・接点評価項目別に講演会参加者の評価結果をみると、「応対・態度」が最も高く 77.4%、一方、「資料・ビデオのわかりやすさ」が最も低く 55.6%となっており、今後の改善が望まれる。



(単数回答、%)

	満足度							
	サンプル数	大変満足	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	大変不満
講演内容	248	16.5	49.6	19.8	12.1	2.0	—	—
講演内容の長さ	248	13.7	48.0	17.3	15.7	4.0	1.2	—
応対・態度	248	29.4	48.0	13.7	8.5	0.4	—	—
説明のわかりやすさ	248	18.5	42.3	19.8	14.1	4.4	0.8	—
資料・ビデオのわかりやすさ	232	19.4	36.2	22.4	18.1	3.4	0.4	—
理解度向上	248	18.1	43.1	25.4	12.1	1.2	—	—

※ 図中の「NS」は表中の上位 2 段階、「NN」は表中の中位 3 段階、「ND」は表中の下位 2 段階の合計であるが、四捨五入の関係上、表の該当する値の和とは必ずしも一致しないことがある。

■ もっと知りたい、聞きたいと思うこと（講演会参加者）

・講演会参加者が「もっと知りたい、聞きたいと思うこと」については、すべての項目で昨年度より増加した。今年度調査からの新規項目である「不正薬物・けん銃などの取締り」は27.4%、「麻薬探知犬・X線検査装置などの取締機器」は36.7%、「貿易の円滑化・利用者の利便性向上への取組み」が25.6%であった。

